

科 目 名	見 学 実 習【作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	青 山 宏・作業療法士教員全員						
開 講 年 次	1	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必 修（作業）
授業の概要 及びねらい	臨床における作業療法および作業療法士の役割について、実際の臨床施設で初めて学ぶ機会であり、早期体験学習の意義を持っている。臨床実習指導者や関係スタッフとの関わりを通して、作業療法の業務について初歩的な理解を得るとともに、対象者を通して障害および障害者についての理解を深め、リハビリテーションおよび作業療法が臨床において果たす役割について認識することが大きな目的である。						
授 業 の 到 達 目 標	1. 社会人・専門職としての基本的態度が理解できる。 2. 医療人として責任及び節度のある態度と行動が理解できる。 3. 作業療法士が勤務する施設の機能・概要がわかる。 4. 作業療法部門及びその関連部門の見学により、臨床場面において作業療法が果たすべき役割が理解できる。 5. 作業療法部門及びその関連部門の見学により、臨床場面において作業療法士が果たすべき役割が理解できる。 6. 検査・測定・治療の実際に関心を持つ。 7. 作業療法士の具体的イメージを形作り、以後の学習に意欲が持てる。 8. 臨床実習に必要な積極的な学習態度を身につける。 9. 臨床における作業療法（士の）役割について、大まかな説明ができる。 10. 臨床実習指導者や関係スタッフと良好な関係を気付くことができる。						
学 習 方 法	臨床実習指導者の指導による見学実習						
テキスト及 び参考書等	特に指定しない。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	実習指導者の評価、実習報告書、セミナーでの発表・討論を総合して評価する。						100
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
	実習施設において実習指導者の指導のもと観察と見学を主体とした実習を行う。 実習日時、実習施設、実習内容については改めてオリエンテーションを行う（実習期間は1週間）。 臨床実習後に学内において実習セミナーを開催し報告と討議を行う。						
備 考	実習前後の予習、復習をしっかりと行うこと。						